

2022年5月17日

## 2024年秋 新型一般車両を導入します

近鉄では、昭和40年代に製造した車両約450両について、お客さまのご利用状況を見極めたうえで、必要分を置き換える計画をしており、2024年秋に新型一般車両（4両×10編成）を導入することを決定しましたのでお知らせします。

新型一般車両は、ご利用いただくあらゆる方々に使いやすく、お客さまと地球環境に優しい車両を目指し、車内防犯対策や省エネルギー化、バリアフリー対応を進め、車内の快適性の向上を図ります。なお、新型の一般車両の導入は、2000年のシリーズ21車両以来24年ぶりとなります。

近鉄では、引き続き、安全・安心・快適な鉄道輸送サービスの提供に努めてまいります。  
詳細は別紙のとおりです。

### 【新型一般車両の主な特長】

車内防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗務員や運転指令者が車内を確認できる防犯カメラを設置します。</li> <li>乗務員と通話ができる車内通報装置を設置します。</li> </ul>
バリアフリー対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>転落防止幌を編成先頭部にも設置します。</li> <li>床面の高さを下げ、駅ホームとの段差を低減します。</li> <li>大型の液晶ディスプレイによる次駅案内の表示などを行います。</li> <li>各車両の両端に優先座席を配置します。</li> </ul>
省エネルギー対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型のインバータ制御装置やLED照明により、消費電力を従来車両比で約45%削減します。</li> </ul>
車内の快適性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまのご利用状況に応じて、ロングシートとクロスシートを切り換えることができるL/Cシートを採用します。</li> <li>ベビーカーや大型荷物などをお持ちのお客さまが気兼ねなく着席できるスペースを、1両あたり2か所設置します。</li> <li>車内空気の除菌を行う装置を導入するほか、座席などに抗菌・抗ウイルス機能を付加します。</li> </ul>
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>（外観）近鉄伝統の赤色をより鮮やかにすることで新しいイメージを創出します。</li> <li>（車内）花柄の座席表布や木目調の壁を使用し、明るく優しい印象とします。</li> </ul>



外観イメージ



車内イメージ

## ■新型一般車両の概要

1. 運行開始時期 2024年秋（予定）
2. 投入線区 奈良線、京都線、橿原線、天理線（以降他線区へも展開予定）
3. 新造両数 4両×10編成 計40両
4. 投資額 約84億円（1両あたり約1.85億円（設計費等除く））
5. 車両の詳細
  - (1) コンセプト
    - ・ご利用いただくあらゆる方々に使いやすく、お客さまと地球環境に優しい車両
  - (2) 車内防犯対策
    - ・車内に防犯カメラを設置し、乗務員や運転指令者が車内の状況を確認できるようにします。
    - ・乗務員と通話ができる車内通報装置を設置します。
  - (3) バリアフリー対応
    - ・ホームから編成連結部への転落を防止するため、転落防止幌を編成先頭部に設置します。
    - ・従来車両と比べて車両床面の高さを下げ、駅ホームとの段差を低減します。
    - ・各車両の両端に優先座席を配置します。（うち1か所は車いすスペースを併設）
    - ・車内の扉上に大型の液晶ディスプレイを設置し、停車駅、次の駅や駅構内設備等を多言語で表示するほか、列車の運行情報もご案内します。



先頭車転落防止幌（イメージ）



車内大型液晶ディスプレイ（イメージ）

- (4) 環境負荷軽減
  - ・新型のVVVFインバータ制御装置を採用することで、従来車両比で消費電力を約45%削減します。また、車内照明や前照灯にLED照明を採用して省エネルギー化を進めます。
- (5) ロング・クロス転換シート（L/Cシート）
  - ・座席はロング・クロス転換シート（L/Cシート）を採用し、車内の混雑度に応じて最適なシート配置を提供します。（混雑時に乗降しやすい横並びのロングシートと、進行方向に向かって着席するクロスシートを切り替えて運用します。）

(6) ベビーカー・大型荷物対応スペース

- ・ベビーカーをお持ちのお客さま、キャリーバッグやスーツケースなどの大型荷物をお持ちのお客さまに、周囲に気兼ねなくお過ごしいただけるスペースを、1両あたり2か所設置します。このスペースの座席は、ベビーカーや大型荷物をお持ちでないお客さまもご利用いただけます。なお、ベビーカー・大型荷物に対応する座席付きのスペースの導入は、日本初となります。



ベビーカー・大型荷物対応スペース



ベビーカー利用イメージ  
(ロングシート時)



大型荷物利用イメージ  
(クロスシート時)

(7) 抗菌・抗ウイルス対応

- ・深紫外線 LED により車内空気の除菌を行う装置を導入します。
- ・お客さまが触れる座席表布などに、抗菌・抗ウイルス機能を付加します。

(8) デザイン

- ・外観デザインは、近鉄伝統の赤色をより鮮やかにすることで新しいイメージを創出します。
- ・車内の内装には、花柄の座席表布や木目調の壁を使用して、明るく優しい印象とします。

(9) その他

- ・戸閉力を制御することで、閉まる扉に荷物が挟まった場合に抜き取りを容易にします。
- ・お客さまが個別に扉を開閉できるスイッチを設置し、酷暑時や厳冬期の車内保温を図ります。
- ・効率的に車両の保守を行うために、省メンテナンス性を考慮した各種機器を採用します。

【SDGs への貢献】

- ・多様なニーズへの対応 (L/C シート、ベビーカー・大型荷物対応スペース、優先座席)
- ・車内防犯対策、バリアフリー対応の充実
- ・リサイクル可能な材料の採用 (車体材料、座席素材等)
- ・省エネルギー (新型機器の導入、LED 照明の採用等)
- ・新型車両による沿線価値向上



近鉄グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

(以 上)